

年 度 評 価 シ ー ト

課名 スポーツ振興課

施設の名称 静岡市ふれあい健康増進館	指定管理者名 公益財団法人静岡市まちづくり公社									
1 履行状況										
業務仕様書及び事業計画書に沿って概ね適正に履行されている。										
(1) 目標達成										
ア 利用者満足度 目標値90%、実績値98.3%（前年度98%）、達成率109.2%（前年度比100.3%）										
イ 利用者数 目標値230,000人、実績値193,362人（前年度187,917人）、達成率84.1% （前年度比102.9%） 【参考】令和元年度（コロナ前） 実績値：214,361人										
(2) 人員配置状況 正規職員10人、パート29人										
(3) 業務実施状況 令和6年度の事業実施状況は以下のとおり										
■指定事業及び自主事業参加者数										
<table border="1"><tr><td>目標値</td><td>実績値</td><td>達成率</td></tr><tr><td>22,000</td><td>14,340</td><td>65.1%</td></tr></table>		目標値	実績値	達成率	22,000	14,340	65.1%			
目標値	実績値	達成率								
22,000	14,340	65.1%								
■指定事業実施回数										
<table border="1"><tr><td>目標値 (仕様書)</td><td>実績値</td><td>達成率</td></tr><tr><td>3事業</td><td>3事業</td><td>100%</td></tr><tr><td>4教室以上</td><td>10教室</td><td>250%</td></tr></table>		目標値 (仕様書)	実績値	達成率	3事業	3事業	100%	4教室以上	10教室	250%
目標値 (仕様書)	実績値	達成率								
3事業	3事業	100%								
4教室以上	10教室	250%								
■自主事業実施回数										
<table border="1"><tr><td>目標値 (事業計画書)</td><td>実績値</td><td>達成率</td></tr><tr><td>4事業</td><td>4事業</td><td>100%</td></tr><tr><td>21教室</td><td>23教室</td><td>109.5%</td></tr></table>		目標値 (事業計画書)	実績値	達成率	4事業	4事業	100%	21教室	23教室	109.5%
目標値 (事業計画書)	実績値	達成率								
4事業	4事業	100%								
21教室	23教室	109.5%								
■【参考】事業参加者数										
<table border="1"><tr><td></td><td>合計参加者数</td><td>内指定事業</td><td>内自主事業</td></tr><tr><td>運動系事業</td><td>21,019</td><td>12,913</td><td>8,106</td></tr></table>			合計参加者数	内指定事業	内自主事業	運動系事業	21,019	12,913	8,106	
	合計参加者数	内指定事業	内自主事業							
運動系事業	21,019	12,913	8,106							

（４）維持管理業務

主な修繕内容は以下のとおりである。

- ア 排煙窓漏水補修修繕
- イ 塩素注入器・残留塩素計消耗部品交換修繕
- ウ キッズプールロープウェイ部品交換修繕
- エ 外壁クラック修繕

【検証・分析等】

・コロナ禍が明けたものの、コロナ期間中に減少した定期利用者数が、以前の利用者数に戻らなかった。また、沼上清掃工場の大規模点検・修繕により約１カ月半に渡り、休館としたことから目標値には届かなかったが、その影響を除けば、SNS（LINE）を活用した情報発信や売店事業に力を入れ、利用者数の回復に努めており、業務は適正に実施できている。

・指定事業、自主事業ともに概ね計画通りに実施されている。

指定事業では、繁忙期及び土日祝において、来館者数が増加したことから、安全面を考慮し、プールやスタジオでの教室を制限したため、目標人数には届かなかった。

自主事業については、ズンバやヨガなどのフィットネス事業で目標を超える教室もあり、高水準の実績を達成している。

その他にも、様々な年代のニーズに即した講座・イベントになるよう創意工夫を凝らしており、食育や文化教養の観点からも、利用者満足度を高める事業の展開ができている。

主な事業の参加者数は、以下のとおりである。

（指定事業）	ゆららキッズクラブ	目標人数 75名	参加者 97名
	スローエアロビック	目標人数 330名	参加者 256名
（自主事業）	ズンバ教室	目標人数 82名	参加者 86名
	そば打ち体験教室	目標人数 20 組	参加者 43組

・施設管理業務、施設利用許可等に関する業務、利用者へのサービス提供に係る業務を実施したほか、建物等の維持管理業務について、一部を第三者委託により実施し、各業務とも事業計画に従って適切に行われており、利用者の安心・安全な環境の提供に努めている。

【確認結果】

○：協定書等の内容が適正に履行されている。

2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）

【具体的な意見・要望と対応状況】

① 意見等

トレーニング室のみ利用する場合は、出入口近くのロッカーを案内してほしい。
プールを利用しないのに、足が濡れてしまう。

対 応

プール、トレーニング室及び浴室は室内施設ごとに区分されておらず、全施設
共通利用となることから、室内施設ごとにロッカーエリアを区分することが難
しい状況である。今後は、混雑時以外であれば、フロントで声をかけてもらえれ
ば、希望のロッカーを提供できるよう対応していく。

② 意見等

タトゥーを入れている人が複数人いる。ゆららの入浴規定等はどうなっている
のか。

対 応

地方自治法第244条の規定に基づき、市民が公の施設を利用することについて、
不当な差別的取扱い及び利用を拒んではならないと定められている。今後も、全
ての利用者に平等かつ公平な運営を実施していく。

【検証・分析等】

幼児から高齢者まで幅広い年齢層が利用するため様々な意見・要望があるが、利
用者からの意見・要望に対して、適切な対応が取られている。

また、館内へのご意見箱の設置や、ホームページの問い合わせフォームの実装、そ
れらの意見・要望を施設・業務改善に取り入れる体制が整えられている。また、即時
の対応が困難である要望に対しても、前向きな検討がなされている。

【確認結果】

○：適切に対応し、改善すべき事項は対応済み、又は改善に向けて作業中である。

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

（1）利用満足度調査

施設の満足度を把握したいため、施設利用者に対し、アンケート調査を実施した。

【調査結果】

回答者総数：1,103人、「満足」「やや満足」と回答した人数：1,084人（満足度98.3%）

【検証・分析等】

令和6年度は参加者から98.3%の満足または大変満足である旨の回答を得た。目
標値である90.0%を大きく超えており、市民ニーズに沿った事業展開が継続的に実
施されていることが確認でき、利用者にとって適切な施設運営がなされていること
は高く評価できる。

【確認結果】

○：調査の結果が概ね良好である。

(2) 市民アンケート

施設の認知度を調査するため、イベント参加者に対し、アンケート調査を実施した。

対象イベント：高齢運転者支援フェスタ、スルガフェス、しみずワクワク祭り、オレングススポーツフィールド

【調査結果】

回答者総数：499人、「知っている」「聞いたことがある」と回答した人数：236人
(認知度47.3%)

【検証・分析等】

静岡市ふれあい健康増進館の認知度は、47.3%であった。昨年度の49.6%と比較すると2.3ポイント減少している。これは、市民アンケート実施対象イベント参加の居住地にも影響しているものと考えられるが、現在行っているSNSの活用については登録者数も非常に増えており、継続的な広報活動は評価できる。今後は、広域的な広報や更なるLINE登録者数獲得による新規利用増と認知度向上を期待したい。

【確認結果】

○：調査の結果が概ね良好である。

(3) その他調査

館内意見箱を設置するとともにホームページに問い合わせフォームを設けており、いただいた意見については館内掲示スペースに展示することで、利用者への周知を図っている。

【確認結果】

○：調査の結果が概ね良好である。

4 指定管理者の経理状況の評価

【収支状況】

指定管理業務における収支状況については、適正に執行されており良好である。

【検証・分析等】

指定管理業務についての収支状況については、新型コロナウイルス感染症が5類へ移行されたものの、コロナ前の利用率までには回復しておらず、利用料金収入は全盛期の87%程度にとどまっている。ただし、教室利用については、参加定員を超える事業が多く出ていることから、実施回数を増やすなど教室収入の増加につなげている。売店事業では、利用者の購買意欲を高める商品やコーナーを展開し、収益の増加に努めている。

さらなる利用者拡大に向け、新規事業の企画やプロモーションに期待したい。

【確認結果】

○：安定的な施設運営を行っており、また今後も継続できる見込みである。

5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	有
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

●事務事業事故について

1. レジオネラ属菌検出

【指摘事項・原因】

規則第9条第3号の規定の方法（遊離残留塩素濃度を10ppm以上50ppm以下とした浴槽水を2時間以上循環させた後、中和処理して排出する方法）でろ過器を消毒していたが、塩素消毒器の注入器に不具合があり、消毒時の遊離残留塩素濃度が10ppmに達していなかったおそれがある。（ろ過器の消毒の際、塩素は、浴槽水の遊離塩素濃度が10ppmになるよう設定した上で、自動注入しているが、注入した後の遊離残留塩素濃度を測定していなかった。本件覚知後に、お湯を1周循環させた後の浴槽水の遊離残留塩素濃度を計測したところ遊離残留塩素濃度が5ppmであった。）

【改善状況】

毎週月曜日の営業時間後、高濃度塩素の注入が10ppmに達するかどうか目視により確認する。（塩素注入時間を15分から30分に延長する。）

男性浴槽の残留塩素濃度の最低値を0.6ppmに、上限値を1.2ppmに変更する。

2. 雨漏りによる転倒事故

【指摘事項・原因】

雨漏りに気付かず、水たまりがある状態に気が付かなかった。

【改善状況】

- ・該当箇所（エントランス上のガラス屋根）の雨漏り修繕を実施する。
- ・悪天候の際には、巡回増の業務と併せて館内の環境確認を行う。

●総括的な評価

【検証・分析等】

事務事業事故の発生はあったが、それ以外の施設維持管理については、遊泳プール・入浴施設特有の衛生管理を始めとする各種維持管理業務が適切に実施され、また委託業者による定期的な保守管理のみに頼ることなく、指定管理者の職員による日常点検、簡易修繕を行い、不具合の早期発見と迅速な対応により、安全の確保とともに、経費削減や設備・備品の延命化を図っている。

また、上級スポーツ施設管理士、プール衛生管理者の資格を有する職員が在籍していることや、全職員が避難誘導訓練、放水・消火訓練の実施及び普通救命講習を受講しているなど、不測の事態に迅速かつ適切な対応を取ることができる体制も構築されている。さらに繁忙期には、仕様書以上の人員配置を行い、プール監視など安全確保に努めている。引き続き、利用者が安心・安全に利用できる施設の提供に努めてほしい。

事業全般として、利用者満足度等調査の結果から、利用者から高い満足度を得ており、良好に実施されている。

教室事業では、レズミルズリアルレッスンなどの気軽に参加できるプログラムを展開し、若者から高齢者まで幅広く支持を受けている。さらにeスポーツ体験会など新事業や、スポーツ以外の事業（そば打ち体験会やミニ門松づくり）を展開しており、新規利用者獲得に繋げる工夫がされている。令和6年度は、全盛期の利用率・利用人数には、回復してはいないものの、昨年度を上回る利用者が参加していたことから今後の展開に期待したい。

施設独自の取組みとして、LINEクーポンや特別割引券を配布し、新規利用者の獲得に繋げている。LINE登録者は4,000人に迫っており、有効な広報手段として機能している。また、売店事業においては、季節ごとの企画販売や、ファミリー向けコーナーの設置など利用者ニーズにあった商品を提供することで、昨年度の2倍以上の収益を実現した。

施設の健康増進機能を更に高める取組みとして、静岡市地域包括ケア推進本部と協働でフレイル予防プロジェクトを開催、静岡市健康づくり推進課と連携して「しぞ〜かでん伝体操」と「わくわく体操」の普及促進事業として、館内にでん伝体操スペースを設け、年間3,513人が利用した。市が主催する、「でん伝体操講習会」や情報交換会に参加した。その他福祉団体とも積極的に連携し、健康寿命の延伸に寄与している。

環境に対する取組みとして、グリーンカーテンの導入や市有竹林を活用した事業を展開し、環境負荷軽減に努めている。さらにふじのくにC00Lチャレンジ「クルポ」を実施し、脱炭素に向けて呼びかけを行っている。

地元団体との連携事業として、地元部農会とのイベント連携、地域への各種用具の貸し出し、地元情報誌の設置などを通じて、常時から地域と良好な関係を構築し、館との交流を通じた地域活性化を図っている。今年度は、あさはた緑地との連携事業として、一般社団法人グリーンパークあさはたが毎週日曜日に開催しているイベントに参加し、ゆららの認知度を向上させるとともに、麻機遊水地周辺への誘客に努め、地元地域活性化に寄与している。

市民サービスの向上の取組みとして、無料シャトルバス利用に関して、定期利用者の在住地域分析や利用者アンケートなどから停留所の新設、廃止を検討しており、利用者のニーズに合わせて、柔軟な対応ができています。

以上から、地域住民に密接したサービスを提供するとともに、利用者ニーズを捉えた安心・安全な施設管理で快適な環境づくりを構築し、施設の利用促進とスポーツ推進計画の目的に沿った運営が行われていることがわかる。今後も、幅広い年代の利用者獲得に努め、創意工夫に富んだ事業展開に期待している。

【評価結果】

○：良好な管理運営であった。

※事務事故が発生したとき及びモニタリング調査において改善に向けた協議があったときは、必ず改善状況を記載すること。